

IAB (Internet Architecture Board)

1. 組織の概要

IETFを統括する上部組織として、各エリアディレクターの集まりであるIESG (Internet Engineering Steering Group) があり、IETF運営の実務を担当する。さらにその上部組織としてIAB (Internet Architecture Board) [RFC1601]があり、インターネットアーキテクチャーに関する基本的な方針を定めていく。IABの下には、ほかにIRSG (Internet Research Steering Group) という研究組織や、IANA (Internet Assigned Numbers Authority) という、ネットワークアドレス、ドメイン名、プロトコル番号などの一元的な管理を行う組織などが置かれている。IABの上部組織は、ISOC (Internet Society) であり、IABのメンバーは、IETFの参加者により推薦され、ISOCの理事会の承認により決定する。

2. 活動内容

IABは、場合によっては特定の話題に関するセミナーを開き、その結果を「Informational RFC」として出版することもある。日本からも、慶応大学の村井純教授が、かつてIABのメンバーを勤めたことがある。

一方、IESGの任務は、インターネットプロトコルの直接的な管理である。インターネットプロトコルは、IETFのWG (Working Group) により「Proposed Standard」として開発され、RFCとして出版された後、6か月以上経って複数のインプリメンテーションが存在して相互の動作の確認がなされた場合には、「Draft Standard」になる。さらに4か月を経て完全な「Internet Standard」になることができるが、これらの段階を通過できるかどうかは、IESGが判断する。この際、必要に応じてIETFのWG (ワーキンググループ) が組織されることもある。

また、プロトコルではないが、ネットワークオペレーションに関する重要な文書はIESGの判断により「BCP (Best Current Practice) RFC」として出版される。

(太田昌孝・東京工業大学)

参考資料

[RFC1601] C. Huitema, "Charter of the Internet Architecture Board (IAB)", March 1994.

[RFC2000] J. Postel, "INTERNET OFFICIAL PROTOCOL STANDARDS", Feb 1995.

[RFC1818] J. Postel, T. Li, Y. Rekhter, "Best Current Practices", April 1995.

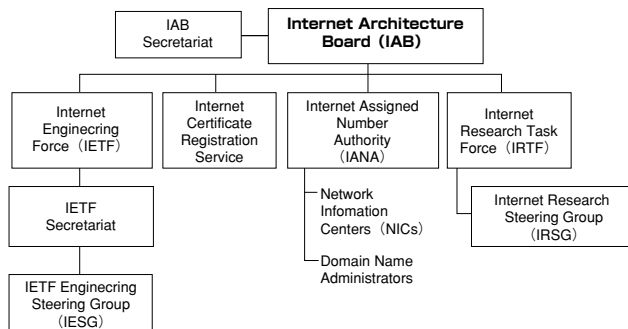


図1 IABと関連組織の構成



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp